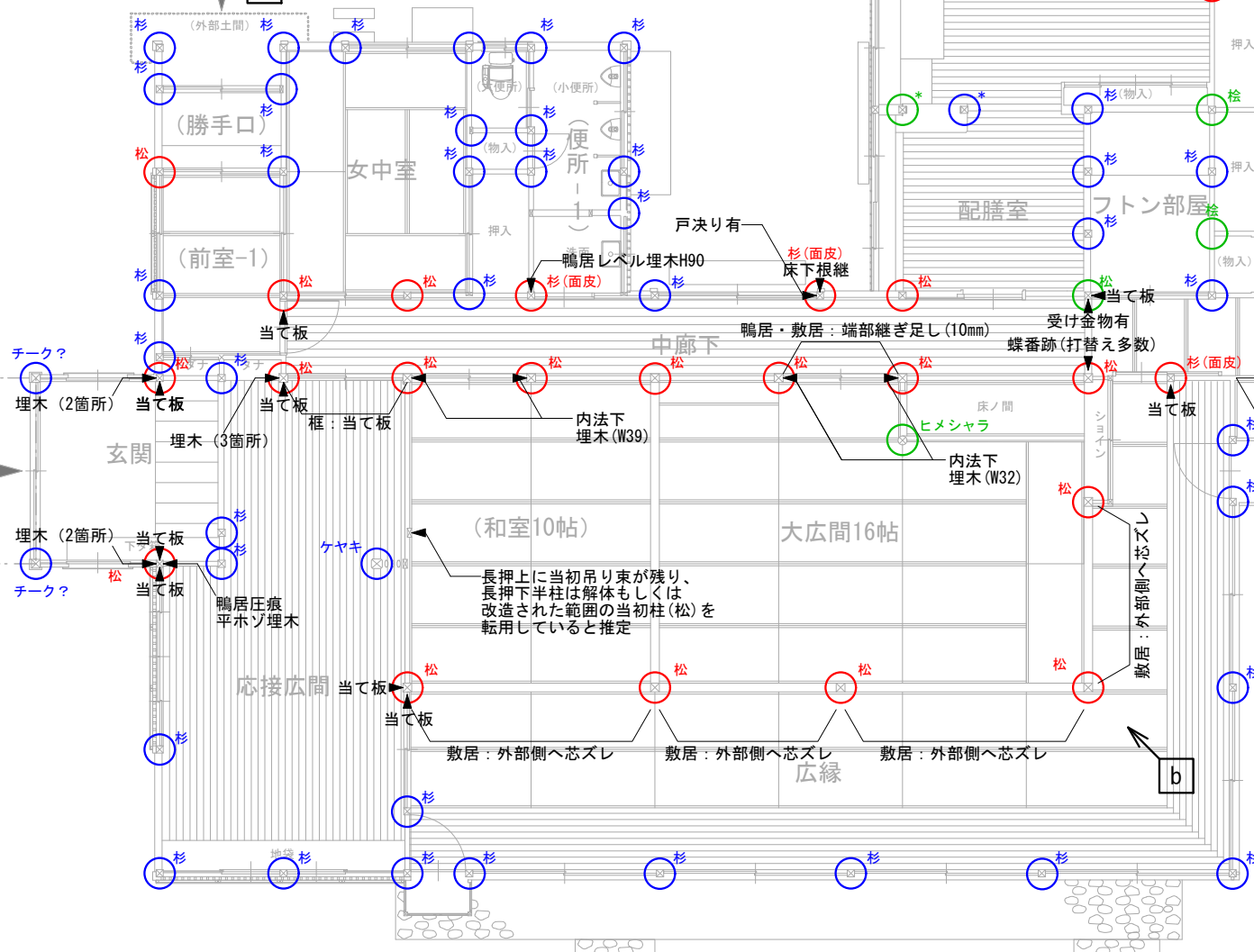


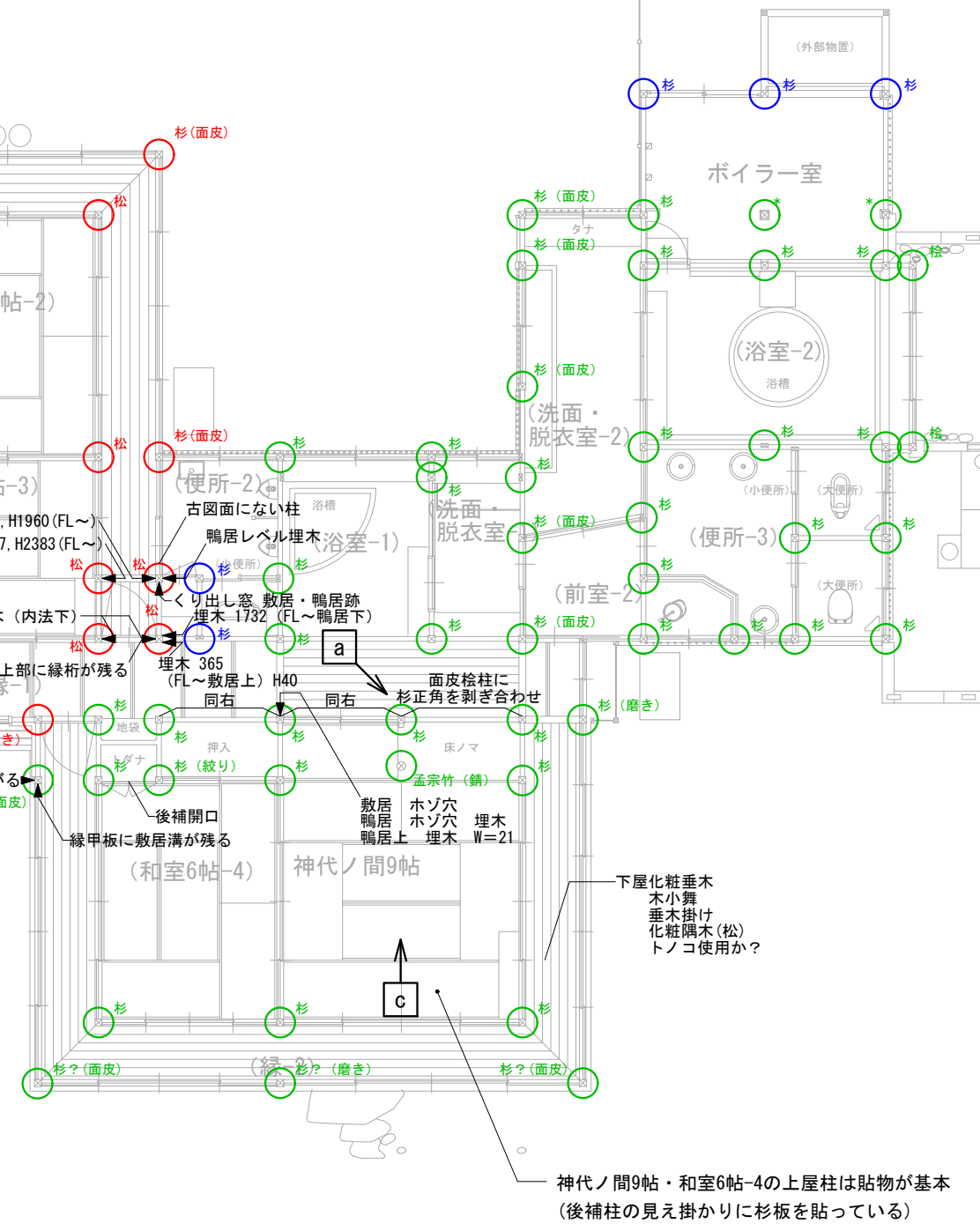
資料5-3 旧大隈重信別邸・旧古河別邸 柱残存状況及び柱痕跡図



b 松正角柱が使用される和室



d 床下に柱を繋ぐ鉄筋棒



凡例	
[柱]	
○ (Red)	: 当初柱
○ (Blue)	: 後補柱
○ (Green)	: 時期不明柱 (要詳細調査)
◀	: 当初柱に確認される痕跡位置

※本邸において“当初”とは、大隈購入時以前を指す(暫定)。どの時点を“当初”とするか(建物変遷区分)は今後要協議。
 ※各新旧判断は、古図面等史料との照合及び、これまでの現地実測調査結果を基にした。
 ※材種不明柱は「*」とする。



a 松正角柱と杉面皮柱の剥ぎ合わせ



c 松正角柱が使用される和室